

平成22年(2010年)度 春期定例理事会  
特定非営利活動法人日本消化器がん検診精度管理評価機構 議事録

1. 日時：平成22年4月17日(土曜日)13:00～13:30
2. 場所：昭和大大学2号館3階第2教室 東京都品川区旗の台1-5-8
3. 出席者数 理事総数67人中58人参加、そのうち、会議出席32人、書面表決26人

会議出席者は32名、議決権行使書による表決者は26名であることから、本理事会における審議は成立することが事務局鶴田恭央(理事)より宣言された。

次いで、定款第34条に基づいて、議長には細井董三理事長が指名された。また議事録署名人には萩原武理事、工藤泰理事が推挙され全会一致で承認された。

引き続き細井董三議長が開会を宣言した。本議事録には、議事の進行に沿って第1号議案から第4号議案(審議案件)と審議結果および第5号議案(報告案件)を順に記した。

なお、初出を除いて発言者氏名は略した。

## 第I部 審議案件

### 1 第1号議案：事務所変更の件

当NPO 法人の定款変更に関することとして、細井理事長が説明した。

現行定款第1章第2条には主たる事務所\*1の所在地を財団法人霞ヶ浦成人病研究事業団(以下、同事業団)に置くことと定められているものの、関係者の勤務地移動や同事業団の申し入れもあり、所在地を変更する必要があると述べた。運営委員会の協議の結果、新たな所在地として東京都がん検診センター(旧東京都多摩がん検診センター 住所：東京都府中市武蔵台2-9-2)が候補であるとし、従たる事務所はこれまで通り、財団法人早期胃がん検診協会内に置くことを説明した。

続いて審議に入り、出席理事32票、議決権行使書26票の賛成により本案は可決された。出席理事からの質問はなかった。

### 2 第2号議案：新任役員(理事)の件

第1号議案に続き、細井議長が説明した。当法人の目的事業(医師・放射線技師に対する教育・研修事業、消化器がん検診の標準化に関する個人検定事業)を円滑に実施するために、東京都がん検診センターに勤務する2名の医師を新任役員(理事)に任命したいと述べた。なお、新任理事は本理事会終了をもって着任することとし、現任役員70名(理事67名、監事3名)と同じく、平成23年3月31日までの任期案も同時に説明した。

続いて審議に入り出席理事32票、議決権行使書26票の賛成により、本案は可決された。出席理事からの質問はなかった。

新任役員を表1に示す。

\*1 事務所と事務局は異なる。事務局の設置は、定款第9章に別途定められている。

表1 平成22年度新任役員

役職	氏名	
理事	小田 丈二	東京 医師
理事	水谷 勝	東京 医師

### 3 第3号議案：新任下部組織委員会委員長の件

当法人の事業推進を目的として、胃X線精度管理研究委員会委員長を八巻悟郎理事に、教育・研修委員会委員長を加藤久人理事とする下部組織委員会委員長人事(案)を馬場保昌運営委員長が説明した。

審議では、出席理事32票、議決権行使書26票の賛成により、本案は可決された。可決後、八巻悟郎、加藤久人両委員長より所管事業に関する所信表明があった。表2に新旧下部組織委員会委員長を記す。

表2 平成22年度下部組織委員会委員長

下部組織委員会名称	新委員長	旧委員長
運営委員会	馬場 保昌	馬場 保昌
財務委員会	細井 董三	細井 董三
広報編集委員会	入口 陽介	入口 陽介
胃X線精度管理研究委員会	八巻 悟郎	細井 董三
教育・研修委員会	加藤 久人	杉野 吉則
X線検診精度管理・評価委員会	馬場 保昌	馬場 保昌
支部運営委員会	杉野 吉則	杉野 吉則

### 4 第4号議案：平成22年度事業計画・収支予算案

各下部組織委員会委員長ないしは副委員長が平成22年度事業計画を説明した。また、鶴田財務委員会副委員長が平成22年度収支予算案(以下、予算案)を説明した。

鶴田副委員長は、平成21年度予算と比べて、1)基準撮影法指導講師および指導員講習会開催に要する旅費・交通費支出を抑制した予算となっていること、2)事務局機能の拡充と事務員雇用のための人件費が予算化されている、ことを説明した。

続いて審議に入り、出席理事32票、議決権行使書26票の賛成により、事業計画案・収支予算案ともに可決された。

平成22年度事業および収支予算書を表3、表4に示す。

表3 NPO 日本消化器がん検診精度管理評価機構 平成22 年度事業

運営委員会	各下部組織委員会が所管する事業を調整・統括し円滑な法人運営を行う。 ただし、法人の会計および収支決算に関する業務は、財務委員会に移管する。
財務委員会	経理業務を整備し、当法人の財政基盤の安定化を図る。 1) 法人運営の合理化 2) 年度事業予算配分案の作成と収支予算書作成 3) 委員会所管事業の収支会計の統括と収支決算書作成 4) 会計処理および税務に関する業務
広報・編集委員会	ホームページ及び広告用ポスター、電子メールを通じて、予定事業を公開する。撮影・読影技術マニュアルや機関誌編集を企画する。
胃X線精度管理 研究委員会	胃X線精度管理研究委員会学術集会を年2回開催し、胃X線専門医および専門技師の育成を図る。 1) 第13回学術集会 22年4月17日(東京) 2) 第14回学術集会 22年11月6日(鹿児島) 3) 第13回基準撮影法とレベルアップ講習会 22年11月7日(鹿児島) (講習会プログラムは、教育・研修委員会と協議し決定する。)
教育・研修委員会	全国規模受講者を対象とし、胃X線検査に関する講習会・研修会を開催する。 1) 第12回基準撮影法とレベルアップ講習会 22年4月18日(東京) 2) 第4回NPO精管構 胃X線検診読影医師講習会 22年6月12日(沖縄) 3) 第5回NPO精管構 胃X線検診読影医師講習会および 第3回NPO精管構 読影力向上のための講習会 22年10月16日(横浜)
X線検診精度理 ・評価委員会	平成23年秋に実施予定の「胃がんX線検診技術部門B検定試験」の円滑な実施を目的として、説明会・講習会・模擬検定試験を実施する。 1) 第1 回胃がんX線検診技術部門講習会・模擬検定試験実施説明会22年4月18日(東京) 2) 第3回胃がんX線検診読影部門 検定方法検討会 22年6月12日(沖縄) 3) 第2 回胃がんX線検診技術部門講習会・模擬検定試験実施説明会22年8月頃(東京) 4) 胃がんX線検診技術部門講習会・模擬検定試験 22年9月12日(全国) 5) 第4回胃がんX線検診読影部門 検定方法検討会 22年10月(横浜) 6) 第1回胃がんX線検診技術部門 A検定方法検討会 23年2月(東京) 支部運営委員会委員会が企画する講習会と各支部が独自に企画する講習会・研修会を開催する。 1) 第1回(仮称) 支部単位技術部門技能検定方式講習会 22年8月頃(全国) 2) 第2回(仮称) 支部単位技術部門技能検定方式講習会 23年1月頃(全国)

表4 NPO 日本消化器がん検診精度管理評価機構 平成22年度収支予算書

科目	予算額	前年度予算	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入	1,528,000	1,850,000	-322,000	
②寄付金等収入				
企業	840,000	430,000	410,000	
③事業収入				特定非営利活動
本事業				
胃X線精度管理研究委員会事業	2,990,000	2,990,000	0	
医師・技師に対する教育研修事業	3,150,000	4,000,000	-850,000	
④利息収入	2,000	2,000	0	普通預金利息
事業活動収入計	8,510,000	9,272,000	-762,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
人件費	90,000	90,000	0	
講師謝金	150,000	150,000	0	
会議費	550,000	1,100,000	-550,000	
会場費	1,000,000	800,000	200,000	
旅費交通費	1,528,785	4,628,240	-3,101,475	
消耗品費	500,000	600,000	-100,000	
印刷費	1,500,000	1,760,000	-260,000	
通信費	1,255,400	1,266,400	-11,000	
雑費	200,000	200,000	0	
事業費支出計	6,772,185	10,594,640	-3,822,475	
②管理費支出				
賃賃料	240,000	0	240,000	
事務用品費	444,000	300,000	144,000	会計ソフトレンタル料
人件費	1,049,800	200,000	849,800	事務員税理士顧問など
管理費支出計	1,733,800	500,000	1,233,800	
事業活動支出計	8,505,985	11,094,640	-2,588,675	
事業活動収支差額	4,035	-1,822,640	1,826,675	
II 投資活動収支の部				
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
予備費支出	0	0	0	
当期支出差額	4,035	-1,822,640	1,826,675	
前期繰越収支差額	1,885,839	3,708,479	-1,822,640	
次期繰越収支差額	1,889,874	1,885,839	4,035	

## 第II部

### 報告案件

#### 5 第5号議案：胃がんX線検診技術部門検定試験の件

馬場運営委員長より、胃がんX線検診技術部門検定試験に関するNPO日本消化器がん検診精度管理評価機構(以下、NPO)と日本消化器がん検診学会(以下、学会)間の協議・合意内容についての報告があった。

すなわち、NPO・学会両組織は、1)胃がんX線検診の精度向上を目的として検診に従事する医師・技師に対する技能認(検)定を計画していること、2)同学会胃がん検診専門技師認定試験(以下、学会専門技師認定)の検定部分を平成23年度よりNPOが委託されたことを説明した。

なお、本年3月29日のNPOと学会間の打ち合わせ内容は、議案書どおりとした。以下、箇条書き。

1. 平成23年度からNPOが検定試験を実施し、その合否判定を行うこと。また、その結果を受けて学会が認定を行うこと。

2. 検定試験の受験資格とその合否基準および更新方法はNPOが規定し、認定(試験受験)資格とその合否基準および更新方法は学会が規定すること。
3. NPOは、検定試験合格者に検定試験合格証明書を送付すること。学会は、学会専門技師認定希望者の認定手続きに際し、検定試験合格証明書を添付するよう請求すること。
4. NPOは検定試験の全部を企画・運営するとともに、実施に要する費用、労務の全部を負担すること。
5. 学会から委託されて平成23年度に実施する検定試験名称は、「NPO胃がんX線検診技術部門B検定資格試験(以下、技術部門B 検定試験)」であること。
6. 技術部門B検定の受験料と合格証明書発行手数料の計15,000円を、NPOが徴収すること。
7. 学会専門技師認定料10,000円を学会が徴収すること。また、背臥位正面位二重造影像と背臥位正面二重造影像(以下、ここでは胃角正面像)に関する問題と、NPO精管構胃がんX線検診技術部門B検定試験技能検定方式(以下、技能検定方式)について言及し、基準撮影法を基盤とする技能検定判定基準を設定すると、胃角正面像を撮影する施設や受験者は減点対象になる可能性があることから、技能検定方式のありかたを修正すると述べた。その修正方針は、1) 基準撮影法の基本的な考え方は変更しないものの、2) 撮影像を基準とする撮影手技(例えば、胃角正面像の撮影や胃角正面像を基準として他撮影体位を組み立てる方法)を応用あるいは高度な撮影法と位置づけ、別途マニュアル化や判定基準を構築する、とした。ただし、応用あるいは高度な撮影手技の位置づけや撮影法が明確にされ、画質精度管理に貢献しうる技能評価判定基準が確立するまでは、背臥位正面位二重造影像と胃角正面像を同等の価値とみなして技能検定を実施することになろうと説明した。

## 6 追加報告

細井議長より、次回胃X線精度管理研究委員会学術集会の当番世話人である鹿児島南風病院西俣嘉人理事の紹介があった。西俣当番世話人は、第14回学術集会を平成22年11月6日(土曜日)に、第13回基準撮影法とレベルアップ講習会を翌7日(日曜日)に開催する予定とし、実行委員長は同病院に勤務する石本裕二理事が務め、鋭意準備中であると述べた。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成22年4月

議長 理事長 細井 董三  
議事録署名人 理事 萩原 武  
理事 工藤 泰